

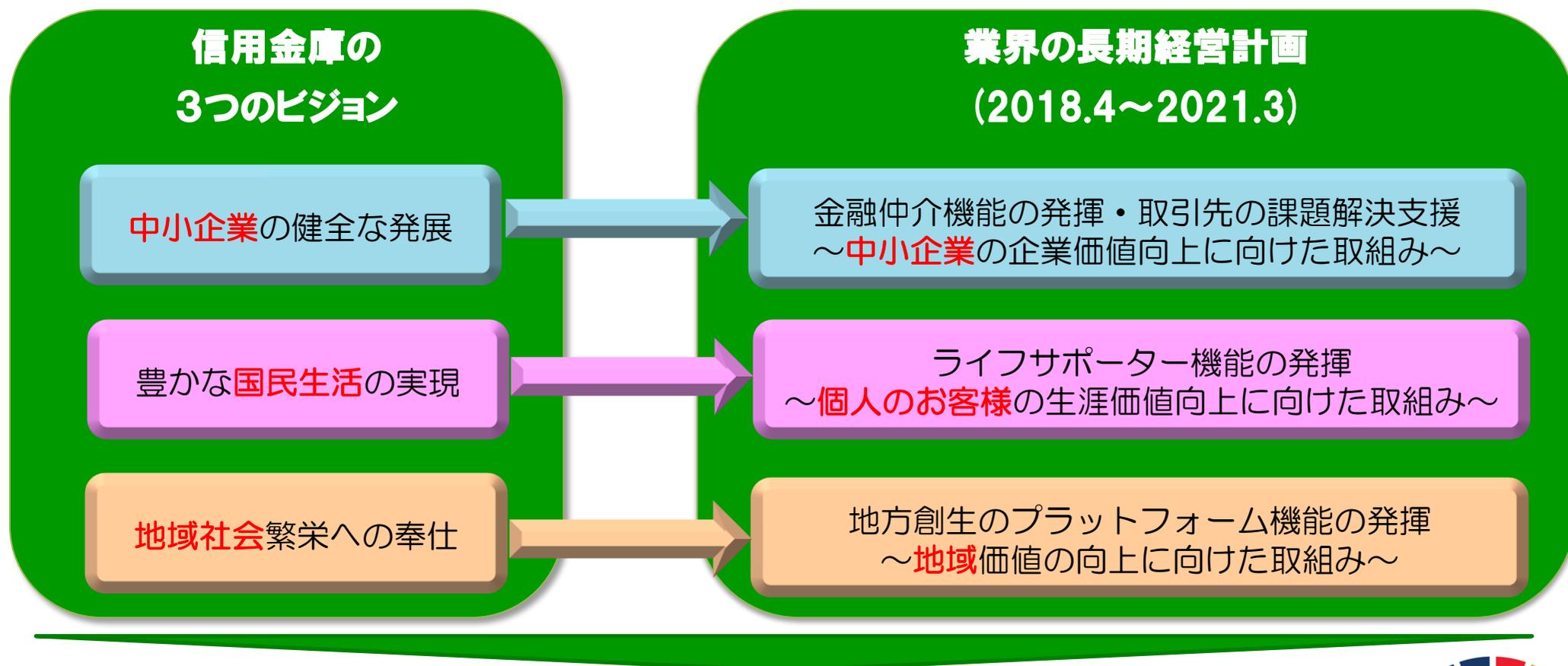
第2回 ESG金融ハイレベル・パネル

2020年3月10日

一般社団法人全国信用金庫協会 会長 / 多摩信用金庫 会長
佐藤 浩二

信用金庫の3つのビジョンとESG地域金融／SDGs

- 信用金庫業界では、昭和43年に「信用金庫3つのビジョン」を決定し、今に至るまで、信用金庫の役職員の間で受け継がれている。信用金庫は、このビジョンのもと、「地域の持続的発展」への貢献を社会的使命として、各地域で様々な取組みに努めている。
- 現在の業界の長期経営計画では、「金融仲介機能の発揮（課題解決支援）」（⇒中小企業）、「ライフサポーター機能の発揮」（⇒個人）、「地方創生のプラットフォーム機能の発揮」（⇒地域全体）を重点施策に掲げ、金融サービスの提供・課題解決支援の実施等を通じて、中小企業・個人・地域全体の価値向上に向けた取組みを推進していくこととしている。
- 信用金庫の活動はSDGsに直結するものであり、信用金庫が各地でこうした取組みに邁進していくことが、正に地域のSDGs達成に繋がっていくものと捉えている。



ESG地域金融の実践／地域のSDGs達成への貢献



信用金庫業界における主な取り組み事例

- 全国各地の信用金庫では、地域の関係者等と連携を深めながら、中小企業の課題解決支援や地域資源を活用した地域活性化プロジェクトの実施など、多様な取り組みを展開している。

事例①【事業承継支援】 北海道の13信用金庫(北海道地区)『事業承継専門機関との連携による面的事業承継支援』

- 北海道の8金庫(当時)と北海道事業承継センターは、平成28年に事業承継支援に関する広域連携ネットワークを構築。(一社)しんきん事業承継支援ネットワークを立ち上げ、同ネットワークが参加金庫における事業承継の取り組みを全面支援。現在、道内の13金庫までにネットワークの輪が広がっている。
- 本ネットワークにおける主な取り組みは次のとおり。
 - ① ネットワーク参加金庫の職員を対象とした「事業承継コンサルタント養成研修」や、各金庫の事業承継担当者を集めた「情報交換会」(3か月に1回)を開催。
 - ② 「事業承継コンサルタント仲介事業」 ➡ 各金庫において、同ネットワーク所属の事業承継コンサルタントによる無料個別相談会を開催。取引先の希望に応じ、事業承継コンサルタントによる有料支援を実行。
 - ③ 「M&Aマッチング」 ➡ 各金庫が買収側企業・譲渡側企業のエントリーを実施。同ネットワークがエントリー情報を集約・マッチングし、コンサルティングとM&A仲介の支援を展開。各金庫は、事業承継支援及びM&A仲介支援に伴う資金需要に対応。

事例②【創業支援、移住促進】 A金庫(北陸地区)『官民協働による移住促進策と連携した創業支援』

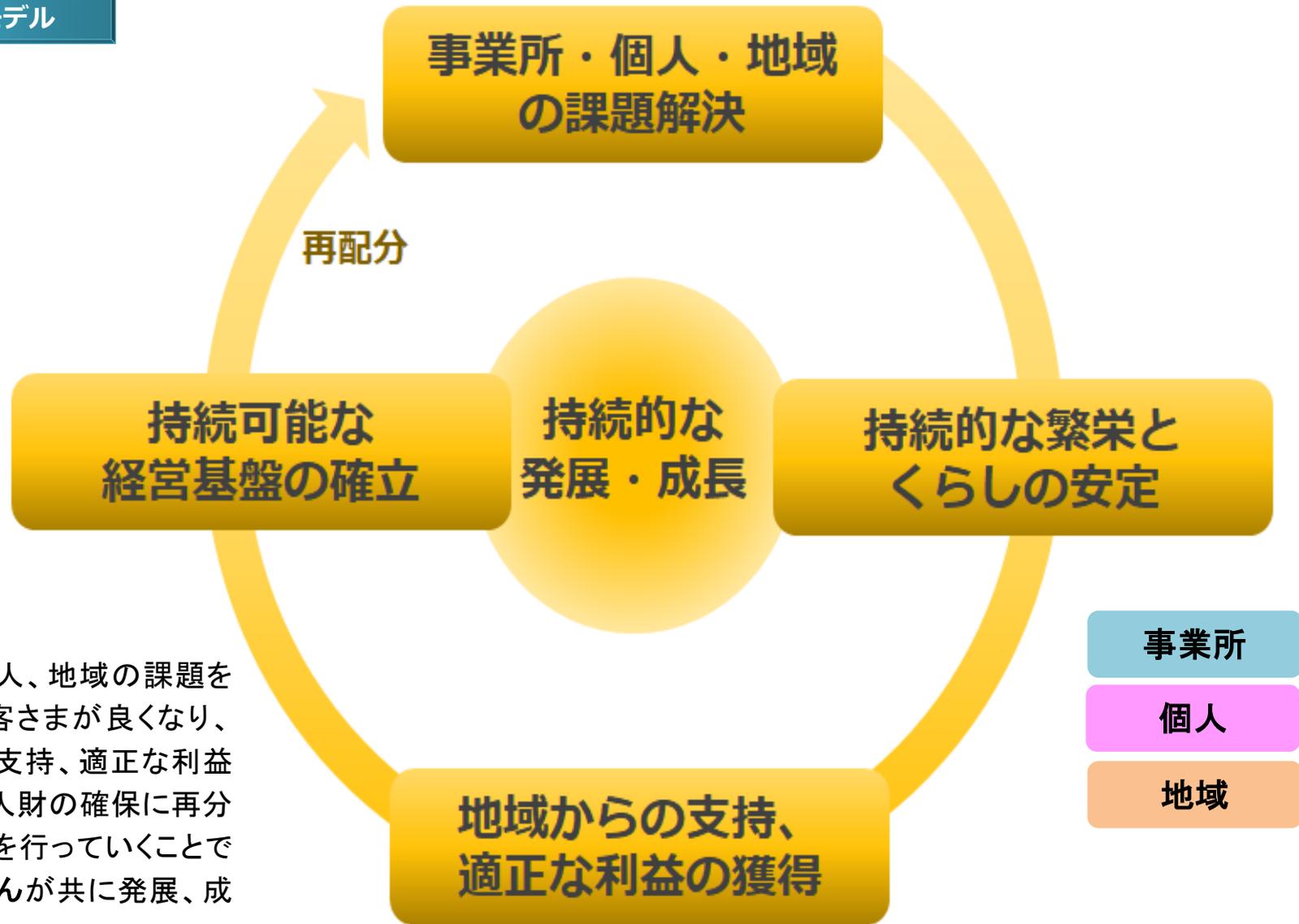
- 地元自治体・商工会議所・日本政策金融公庫・A信用金庫の4者が協定書を締結し、平成26年1月に「創業応援カルテット」を設立。官民一体となり、各支援機関の支援メニューを断続的かつ効果的に提供することにより、創業初期段階から創業後のフォローアップまでをワンストップで支援する体制を整備。
- 本カルテットにおける主な取り組みは次のとおり。
 - ① 各支援機関担当者による毎月の連絡会議の開催(相談案件の内容・案件毎の課題等の情報共有の促進)。
 - ② 創業に必要な知識・ノウハウの習得支援(創業相談会や創業セミナーの開催等)。
 - ③ 専門家による個別の創業相談会・直接派遣指導、創業後のアフターフォローの実施。
 - ④ 「iju(イジュウ)創業パック」*を提供し、移住者の住宅取得等を合わせて支援。 *地元自治体とカルテット構成機関が有する移住・創業に係る支援メニューをパッケージ化したもの。

事例③【地域資源の活用による地域活性化】 B金庫(東海地区)『天浜線 人と時代をつなぐ 花のリレー・プロジェクト』

- 「地域の力で地域を盛り上げ、訪れた人がまた来たいと思える場所にしたい」というコンセプトのもと、B信用金庫では、沿線に多くの観光資源を有する天竜浜名湖鉄道(通称:天浜線)に着目。浜松市花みどり振興財団(はままつフラワーパーク)、天浜線と連携し、同金庫の理事長主導のもと、天浜線に専任職員を出向させることにより、プロジェクトがスタート。
- 菜の花列車で知られる千葉県の「いすみ鉄道」の取り組みに着想を得て、天浜線の沿線を花で彩るプロジェクトとして、鉄道沿線の風景が季節ごとに移り変わるように花を植え育てていく活動を実施。プロジェクトの維持管理は、同金庫が主導する「アダプト・プログラム」を採用。信用金庫の地域との繋りを活かし、同金庫本部および各営業店から、沿線の高校や取引先企業等に同プログラムへの参加を呼びかけ、70団体以上が参加する「地域を巻き込んだプログラム」を構築。
- 日本初の女性樹木医・塚本こなみ(浜松市花みどり振興財団理事長)を総合プロデューサーに登用し、天浜線本社駅「天竜二俣駅」には日本屈指のガーデンデザイナー・吉谷桂子氏設計による「ペレニアル・ガーデン」を計画するなど、花の観光名所となるようなプランを企画。その他、駅周辺等を中心に約20箇所を植栽候補地に選定。
- 平成30年6月、はままつフラワーパークにてキックオフイベントを開催し、アダプト・プログラム参加企業など約160名が参加。今後は、各植栽地の開花時期に合わせたマルシェの実施、そのマルシェにおいて地元若者のアイデアを活かした新商品を販売するなど、さらに地域の結びつきが強まる取り組みを展開予定。

多摩信用金庫のビジネスモデル

たましんのビジネスモデル



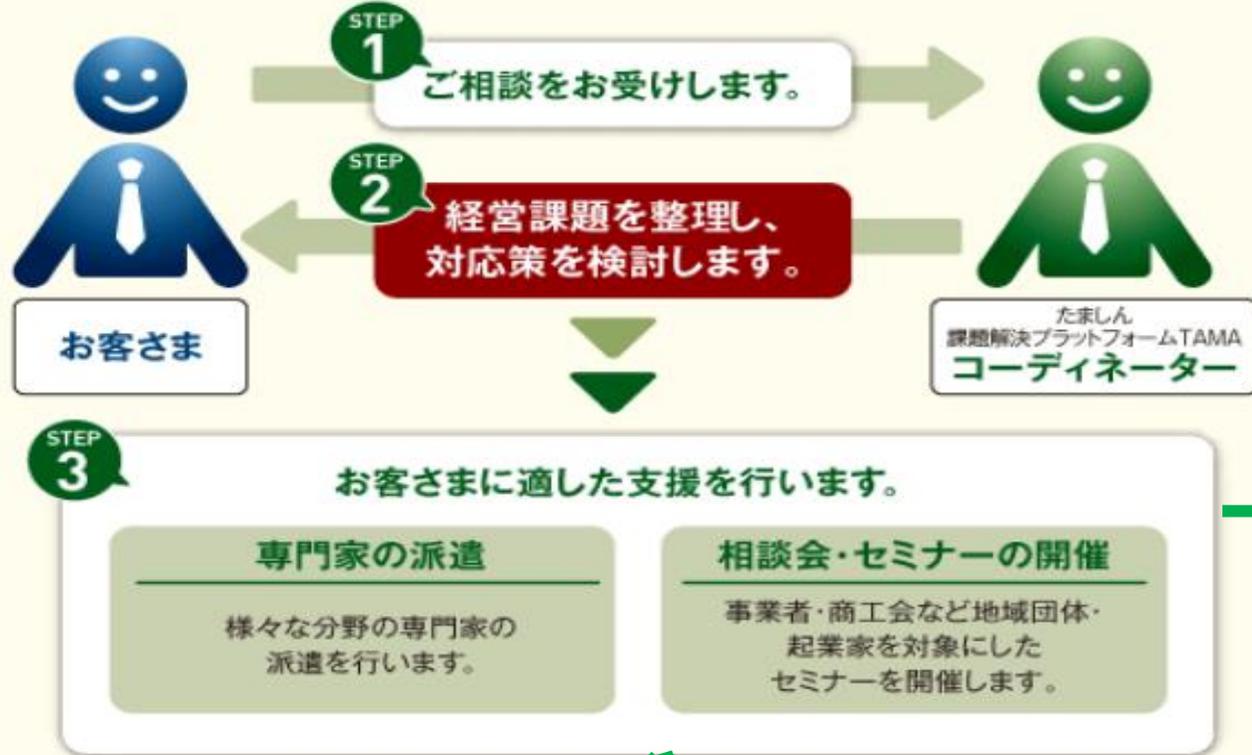
たましんが事業所、個人、地域の課題を解決していくことでお客さまが良くなり、結果として地域からの支持、適正な利益を得て、それを資源や人財の確保に再分配し、更なる課題解決を行っていくことで持続的に地域とたましんが共に発展、成長を遂げていく

多摩地域における ”事業所・個人・地域の課題解決” に邁進

多摩信用金庫における主な取組み①～「課題解決プラットフォームTAMA」の取組み～

課題解決プラットフォームTAMA

課題解決へのアプローチ



たましん 無料相談会

平成28年5月・6月

相談種別	会場	日時	所要時間
経営・財務 （お申し込み不要）	Webセンター（自由）	9日 18日 28日 29日	10:30~11:10 11:10~11:50 11:50~12:30 12:30~13:10
	Webプラザ（多摩センター）	19日	10:30~14:15 14:15~15:00 15:00~15:45 15:45~16:30
	Webセンター（自由）	11日 25日 8日 22日	10:00~9:45 10:30~11:15 11:15~12:00
	Webプラザ（多摩センター）	19日	10:30~10:15 11:00~11:00 11:00~11:45 11:45~12:30
事業承継 （お申し込み不要）	Webセンター（自由）	12日	10:30~14:00 14:00~15:00 15:00~16:00 16:00~17:00

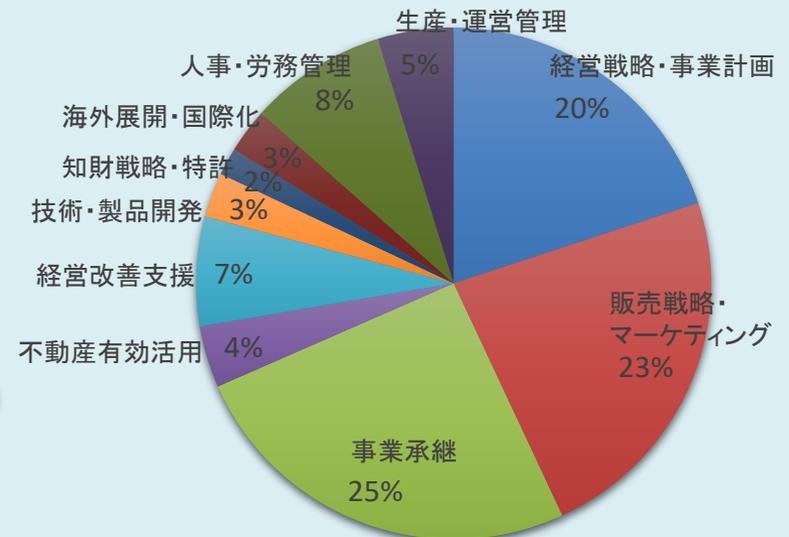
人工知能・機械学習技術の最新動向と活用セミナー

平成30年3月11日（水）午後2時30分～午後4時30分

お問い合わせ・お申込み

たましん法人総合サービスBOB事務局 TEL: 042-528-7730 FAX: 042-528-7793

＜課題別相談状況＞



（平成30年度：課題解決プラットフォームTAMAより）

多摩信用金庫における主な取り組み②～信用金庫間の連携による地域活性化の取り組み～

しんきん圏央道アライアンス

圏央道沿線の地域活性化や観光資源の活用などを目的に、水戸、埼玉縣、千葉、平塚信用金庫と「しんきん圏央道アライアンス」に関する協定を締結しました。地域を横断した信用金庫の広域ネットワークを構築し、さまざまな情報を共有することで地域と企業・事業者の課題解決に取り組んでいます。



5 金庫連携した取り組み ～ビジネスマッチングやまちづくり～

埼玉縣信用金庫主催
「さいしんビジネスフェア」に
「しんきん圏央道アライアンス
ブース」を出展

水戸信用金庫主催
「しんきんビジネスフェア」に
相互出展



埼玉縣信用金庫主催
「そうかりノベーション
まちづくり見学ツアー」で
草加市の取り組みについて学ぶ



事務局会議で千葉市職員より
講話「千葉市の取組事例」を伺う